

「PTA も学校も もっとラクに」 大塚配布資料

2020年（令和2年度）群馬県西部地区 PTA 指導者研修会

<Part1（前半）> 保護者と学校のこれから

*マイテーマ PTA いろいろな形の家族 人と人のつながり方はそれぞれに合った形で

*PTAの思い出 保育園で反省 → 小1モヤモヤ → 小3 → 小4「あさいチ」ショック

◎今日お伝えしたいこと 「PTAは じつはいまと違うやり方も できる」

○PTAの主な問題点 ・前年通り ・目的不明性 ・強制=意思を尊重しない

○なぜ強制に？ ・ずっとそうだった ・学校も助かる（し、保護者の側にも…？）

○元の米国のPTA・・・ボランティア=自発的な活動

→戦後の日本では「そこにいる人は 全員 必ず やりましょう」の義務強制でスタート

○強制のマイナス面

- 1 たのしくない・やる気をなくす
- 2 根本的な問題が解決しない
- 3 辛い人をより追い詰めてしまう
- 4 生産性のない仕事が発生しがち

○強制をやめたらどうやって人を確保する？

*まっとうに人を集める

*集まった人数 or お金でできることをやる！

発想の転換！

○保護者と学校の関係

これまでは 学校の予算不足を PTAがお金と労働力で補う

→今後は「お互いにラクになる方向」で協力？ 「地域学校協働本部」もある

PTAをどうするか そこで何をするかは 各々のPTAで考えていく

<Part2 (後半)> 役員さんも、なるべくラクに

■ トピック1 ■ 本部役員決め

×特効薬（例／ポイント制）よりも ○正攻法で
→仕事が多いなら減らす、詳細に説明など

■ トピック2 ■ 次期役員さんに向けて

* やりにくければ変えてOK

* 「やめます」「退会します」は追う必要ナシ、子どもの扱いも変えない
PTAは「その学校に通うすべての子どものため」に活動

参考) 大津市教育委員会「PTA 運営の手引き」



【考えよう PTA】大津市教委の「PTA 運営の手引き」全文
(東京すくすく)

■ トピック3 ■ PTA を変えた例

* 例1 / 大田区立嶺町小 PTO (←O は応援談の意味だそう)

* 例2 / 名古屋市立吹上小 PTA

* 校長・PTA 会長、役員さんの間で 問題意識をある程度共有

* 合意形成の努力は ある程度必要だが それをやっていれば 陰口は気にしない

* 「元に戻そう」に負けず 根付くまで踏ん張る